

多文化サービスと電子図書の活用

静岡県 浜松市立中央図書館

基本データ

所在地	静岡県浜松市
職員数	33人
うち司書数	15人
蔵書数	2,594,465冊
利用登録者数	175,006人
年間貸出冊数	4,204,146冊
(児童用図書貸出数 1,714,621冊)	

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】様々な利用者へのサービスの充実

【活動のねらい】

- 図書館における多文化サービスの推進

取組・活動の概要

(1) 多文化サービス

- 平成26年度から開始。浜松市在住、通勤、通学の外国人を対象。
- 外国人向けの図書館ツアー、いろいろな国のことばのおはなし会などのイベントの開催、多言語利用案内の作成、多文化共生に資する資料の収集・提供などに取り組んでいる。
- また、平成26年には図書館の多文化サービスについての講演会を開催した。

(2) 電子図書サービス

- 平成30年2月から開始(令和2年1月から本格開始)。浜松市内に在住、通勤、通学者を対象。
- 電子図書サービスにおいては多言語の洋書を提供。外国人市民の利用促進のため、日本語学校、大学、企業、国際フェアなどで、図書館及び電子図書サービスのPRを行い、図書館利用者カードの発行及び電子図書IDカードの発行を行った。

取組・活動の工夫や特徴

(1) 多文化サービス

- 開始当初にニーズ調査を行った。その結果から対象者にとって必要と思われるサービスを把握した上で、業務に取り組み、多言語によるPR

を行った。今後は、在留外国人の多国籍化に伴い「やさしい日本語」による事業PRやサービス提供に取り組んでいきたい。

(2) 電子図書サービス

- 日本語学校、大学、企業、国際フェアなどに出掛け、積極的にアウトリーチサービス(図書館利用者カードの発行及び電子図書IDカードの発行)を行った。

取組・活動の成果や今後の展望

(1) 多文化サービス

- 取り組み前に比べ、外国語資料の所蔵数や貸出数が増加している。年間の統計により、外国語資料の貸出数や関連行事への参加数を成果の指標の一つとしている。今後は、外国人市民にとってより魅力的なコンテンツの提供とPR活動(アウトリーチ活動含め)に取り組んでいきたい。

(2) 電子図書サービス

- 図書館における多文化サービスを推進のため、引き続き、多言語の洋書を提供する。
- 「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)に対応し、スクリーンリーダ(読み上げソフト)に対応したコンテンツを提供する。
- 行政資料・地域資料を提供する。